

世界No.1の 顔認証技術

技術の社会実装

IT技術

これからの社会で求められる人材像

2021年

10月11日(月) 18:30 - 20:15

対象: 京都大学の新入生・学部生・大学院生、教職員

会場: 京都大学 時計台記念館百周年記念ホール (京都大学 本部構内)

(対面およびオンラインで開催。対面かオンラインかを選択してお申込みください)

概要

挨拶

(5分)

「未来社会に向けた学び」

戸田 圭一 教授 京都大学 経営管理大学院長

第1部

世界No.1のNECの顔認証と東京2020大会活用事例 NEC (45分)

東京2020を契機に実現する 安全安心な社会

東京2020大会のゴールドパートナーであるNECが目指すITを活用した安全安心な大会の実現と、その先のレガシーであるパブリックセーフティや安全安心で住みやすい街づくりに向けた取り組みや事例についてご紹介。

水口 喜博

NEC 東京オリンピック・パラリンピック推進本部 本部長

世界No.1のNECの顔認証技術

エラー率0.4%の世界No.1技術であるNECの顔認証の開発秘話、さらには、COVID-19で求められている感染症防止と社会持続性を両立させるための「非接触」なサービスに向けた推進等、技術の社会実装による価値提供についてご紹介。

今岡 仁

NEC フェロー

第2部

音声認識技術の進展 京都大学

(25分)

京都大学における音声認識の研究は、今から約50年前にNECとの共同研究により、世界にさがけて音声タイプを開発した歴史があり、2011年には、世界で初めて、国会(衆議院)の会議録作成に導入されている。本講演ではその後の進展も含めて紹介する。

河原 達也 教授 京都大学 情報学研究科 音声メディア研究室

第3部

これからの社会で求められる人材像&クロージング (30分)

これからの社会で求められる人材像

これからの社会で求められることは、様々な技術やアイデアをいかにスピード感をもって社会に実装していき、価値を作っていくことができるか。そのマインドセットや、スキル、考え方について語る。

梅松 旭美

NEC バイオメトリクス研究所 シニアリサーチャー

クロージング「未来への共感を創る」

本特別講義の締めくくりとして、京都大学出身のNEC新野副会長が、OBとして、経営者として、これからの未来を創るリーダーとなっていく京都大学の学生の皆さんに、今伝えたいことを語る。

新野 隆

NEC代表取締役副会長

第2回 特別講義

顔認証で実現する 安全安心な社会

情報学ビジネス実践講座
お申し込みはこちら▶



第2回 特別講義

顔認証で実現する 安全安心な社会

誰もが安全安心で快適に生活できる社会の実現に向け、生体認証の活用が日進月歩で進んでいます。本講義では、東京2020大会やCOVID-19対策の事例を交えながら、生体認証技術の価値と可能性、また、技術を社会実装していく上で大切な人材像を、経営／現場の双方の目線からお伝えします。

Speaker

京都大学



戸田 圭一 教授

経営管理大学院

京都大学大学院修士課程修了、アイオワ大学大学院博士課程修了(Ph.D.)。(株)ニュージェック、京都大学防災研究所、京都大学大学院工学研究科を経て現職。2020年からは経営管理大学院院長も務める。2021年6月土木学会功績賞。



河原 達也 教授

情報学研究科 音声メディア研究室

京都大学大学院工学研究科修了。現在、情報学研究科教授・研究科長。音声情報処理、特に音声認識及び対話システムに関する研究に従事。IEEE Fellow、ISCA、APSIPA 理事。日本学会会議連携会員。



お申し込みはこちら▶

予告

第3回 特別講義

時期：2022年1月19日

テーマ

社会課題に正面から向き合う真のDXへの挑戦
～企業はなぜリスクベースの判断ができないのか～

NEC



新野 隆

NEC代表取締役副会長

金融ソリューション事業本部長、執行役員常務兼CSO、2016年より代表取締役執行役員社長を歴任し、2021年より現職。



今岡 仁

NEC フェロー

顔認証の研究開発に従事。製品「Neo Face」は米国はじめ世界45か国で採用。米国国立標準技術研究所のベンチマークで世界No.1評価5回獲得。NECフェローとして、AI・デジタルヘルスケアなどデジタルビジネスの技術を統括。



水口 喜博

NEC東京オリンピック・パラリンピック推進本部 本部長官公庁などに対する生体認証システムの販売・開発に従事。第二官庁ソリューション事業部シニアマネージャ等を経て、2017年より現職。



梅松 旭美

NEC バイオメトリクス研究所 シニアリサーチャー
MIT客員研究員として、ストレス/健康度の未来予測を研究、IEEE BHI論文賞受賞。心理学、認知科学、社会学などの知見を活かした人間内面のモデル化に取り組む。

情報学ビジネス実践講座

京都大学と協力企業（ANAシステムズ、NTTデータ、DMG森精機、東京海上日動火災保険、三井住友銀行・日本総合研究所、日本電気）がデジタル時代の社会で活躍するために、ITとそのビジネスへの活用を実践的に学べる場を提供することを目的に設立した産学共同講座

詳細／お問い合わせはこちら：

情報学ビジネス実践講座 事務局

PIB@gsm.kyoto-u.ac.jp

<https://www.project.gsm.kyoto-u.ac.jp/pib/>

